

津麦ニュース 令和元年産 第4報

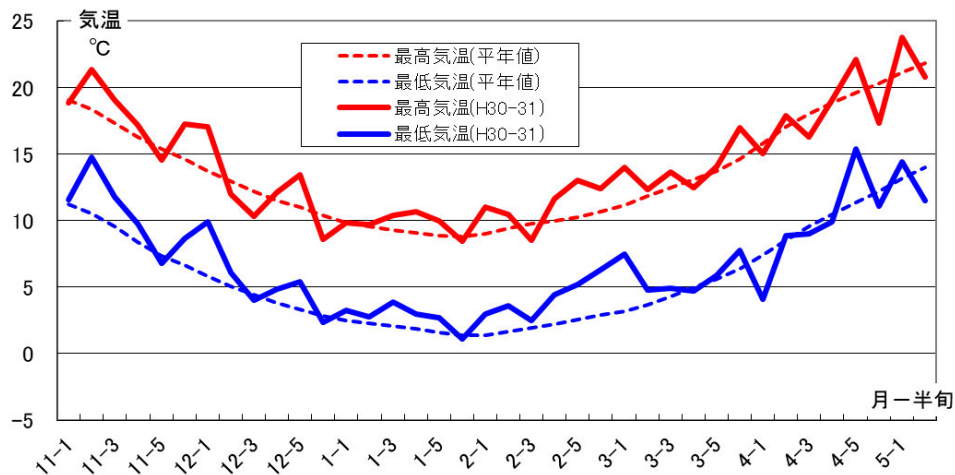
令和元年5月10日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

麦の生育はやや早め～平年並みに推移しています。
今後、適期作業で良質麦を確保しましょう。

< 気象経過 >

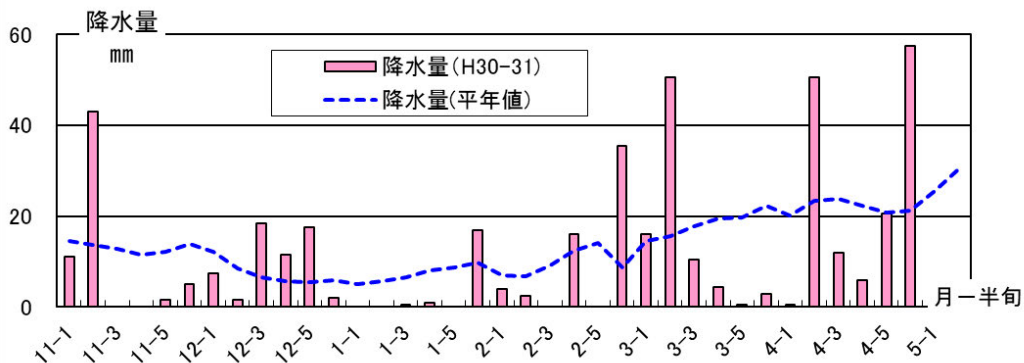
○気温

11月以降気温は高く推移していましたが、4月上旬から中旬にかけて冷え込みました。



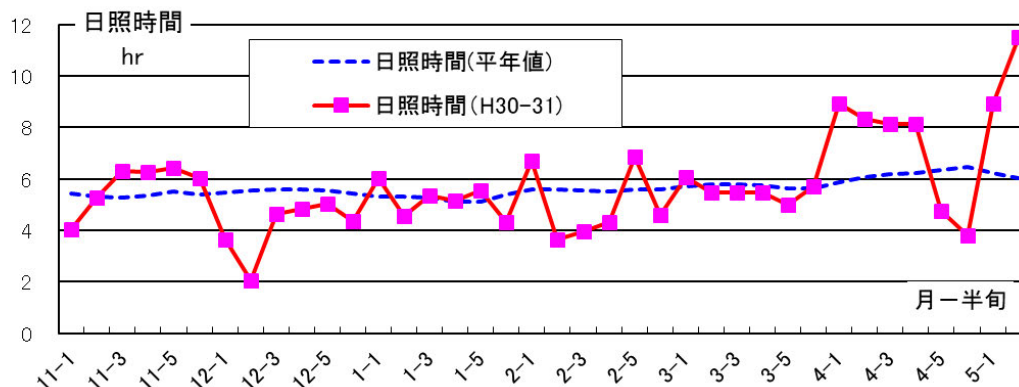
○降水量

11月上旬、3月中旬、4月中下旬にまとまった雨が降った日がありました。12月は雨が降った日が多く、降水量は平年より多くなりました。1月は晴天が続きました。



○日照時間

12月から3月にかけての日照時間は少なくなっていますが、4月以降多く推移しています。



<麦の状況>

○生育状況

暖冬の影響で生育は平年より早く進み、11月上旬播種の圃場では4月上旬に出穂期、中旬には開花期を迎えました。葉齢の展開は早く進んでいましたが、4月に入り冷え込んだこと等からやや早め～平年並みになってきています。また4月上旬の低温時に出穂期前後となった圃場では凍霜害が散見されています。

R元年産小麦

※参考: R1.5.10時点

調査場所	播種月日	稈長 cm	穂数 本/m ²	穂長 cm	出穂期	播種後日数
芸濃	11月18日	93.2	560.0	9.1	4月10日	173
安濃	11月12日	82.4	624.0	9.4	4月13日	179
白山	11月2日	95.4	416.0	9.4	4月3日	189

H30年産小麦

※参考: H30.5.9時点

調査場所	播種月日	稈長 cm	穂数 本/m ²	穂長 cm	出穂期	播種後日数
芸濃	11月27日	78.0	464.8	8.0	4月19日	163
安濃	11月10日	91.4	553.0	9.9	4月12日	180
白山	11月7日	88.6	456.8	9.7	4月11日	183
一志	11月5日	91.3	458.0	10.0	4月9日	185

○病虫害発生状況

凍霜害がみられる圃場では黒節病が確認されました。

※黒節病: 細菌の一種によって発生する病害。本病は低温多湿で好発する。最近の発生では、暖冬で経過し、春先に寒波が来襲した後に発生が多くなる傾向が認められている。節以外にも葉身や葉鞘、穂などに病徴が生じる。葉鞘では葉脈に沿って黒褐色の長い病斑が現れる。

<今後の対策>

○雑草対策(ネズミムギ(イタリアンライグラス)、カラスムギについて)

繁殖能力が強く、麦畑で広がりつつあります。圃場での発生が確認された場合には、発生量がわずかでも結実前に抜き取りましょう。また、作付け計画を見直し、一年休耕して耕起や非選択性除草剤で防除、常時湛水で種子の死滅を図る等の対策を行いましょう。

○適期収穫

麦の収穫適期のめやすは、穀粒水分27～28%、穂首の3割が曲がった頃です。

- ①雨にあたると穂発芽の発生や、容積重が低下し、外観も悪化して品質が低下します。今後の天気を考慮し収穫を行いましょう。
- ②あやひかりは白穂品種で収穫時期が判別しにくいので、水分測定を行って刈り取り時期を判断しましょう。
- ③本年の麦の生育予測によると、あやひかりで概ね平年並み、5月下旬～6月上旬には成熟期を迎えます。

収穫作業の準備は早めに行い、生育状況を注視して、適期作業に努めましょう。

○小麦の生育予測

令和元年5月10日現在

品種	播種日	出穂期の予測日	開花期の予測日	成熟期の予測日 (平年との差)
あやひかり	11月1日	4月6日	4月19日	5月29日 (1.5日遅い)
	11月10日	4月11日	4月22日	6月1日 (1.3日遅い)
	11月20日	4月17日	4月25日	6月4日 (0.1日遅い)
	11月30日	4月20日	4月28日	6月6日 (0.0日遅い)

※三重県農業研究所作成の生育予測システムVer.9.2による予測です。

気象庁アメダス津観測地点(平均は直近10ヵ年)を使用しました。